

大学生調査 結果報告

【調査概要】 調査期間：令和5年10月30日（月）～11月13日（月）

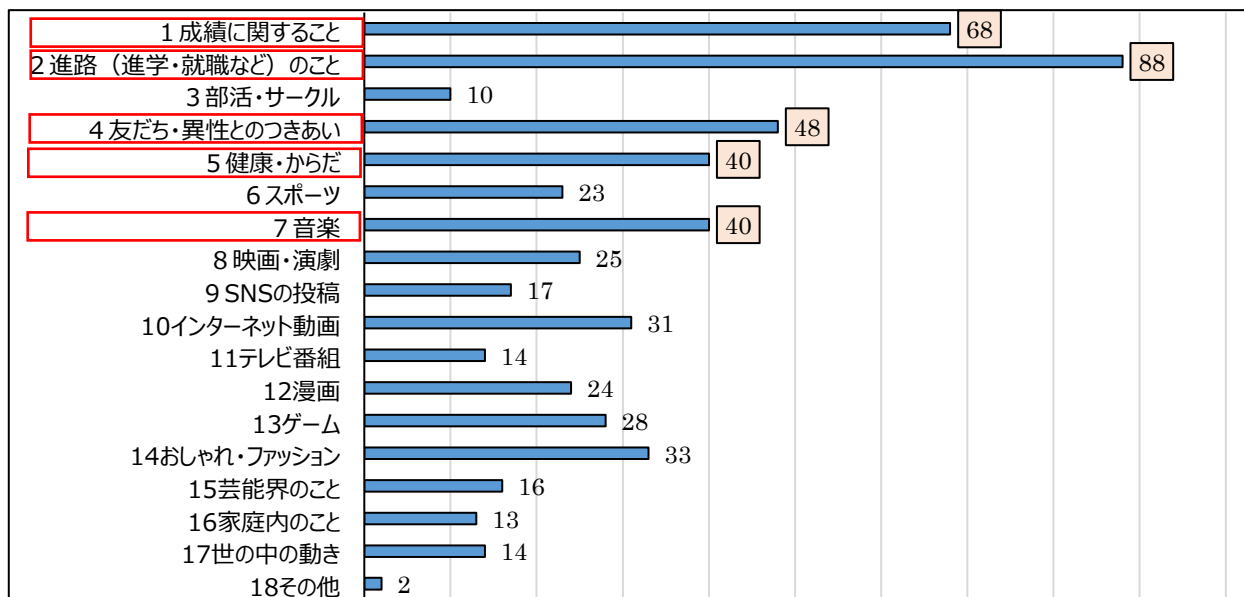
対象者：武蔵野大学薬学部 学生

調査方法：調査用紙を配布後、LoGo フォームにて回答

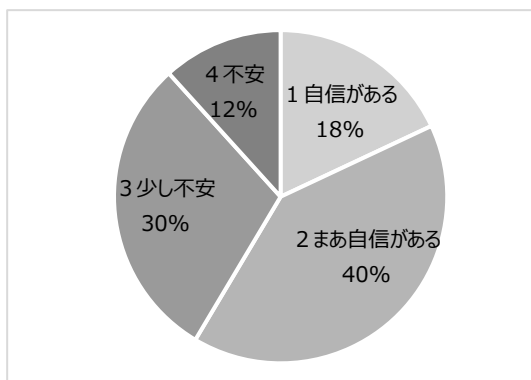
回答数：114 件

【アンケート結果】

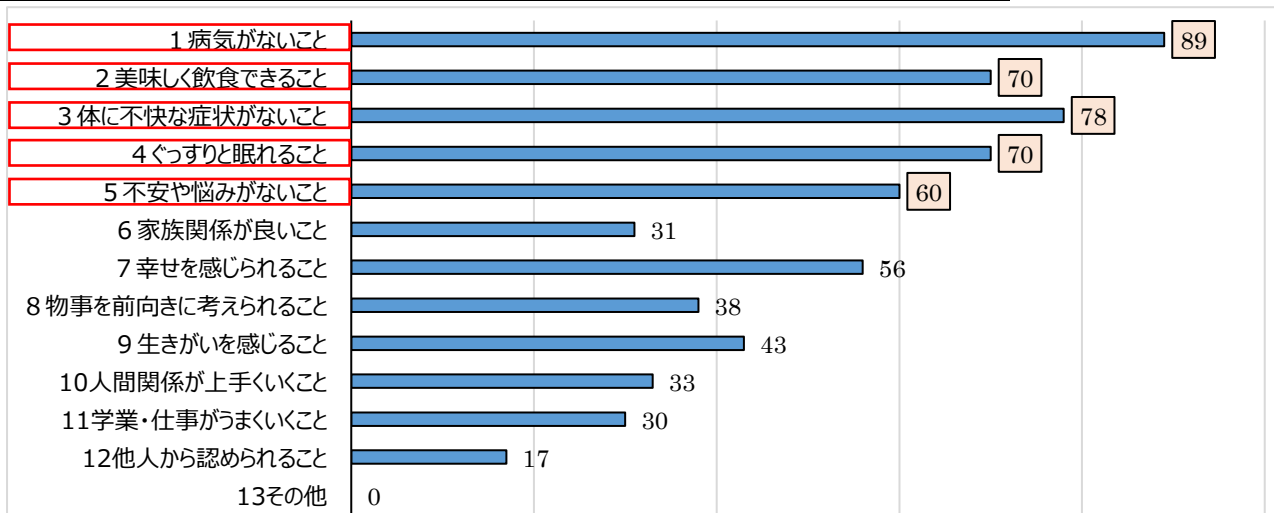
Q1 あなたが今、関心があることはなんですか？（複数選択可）



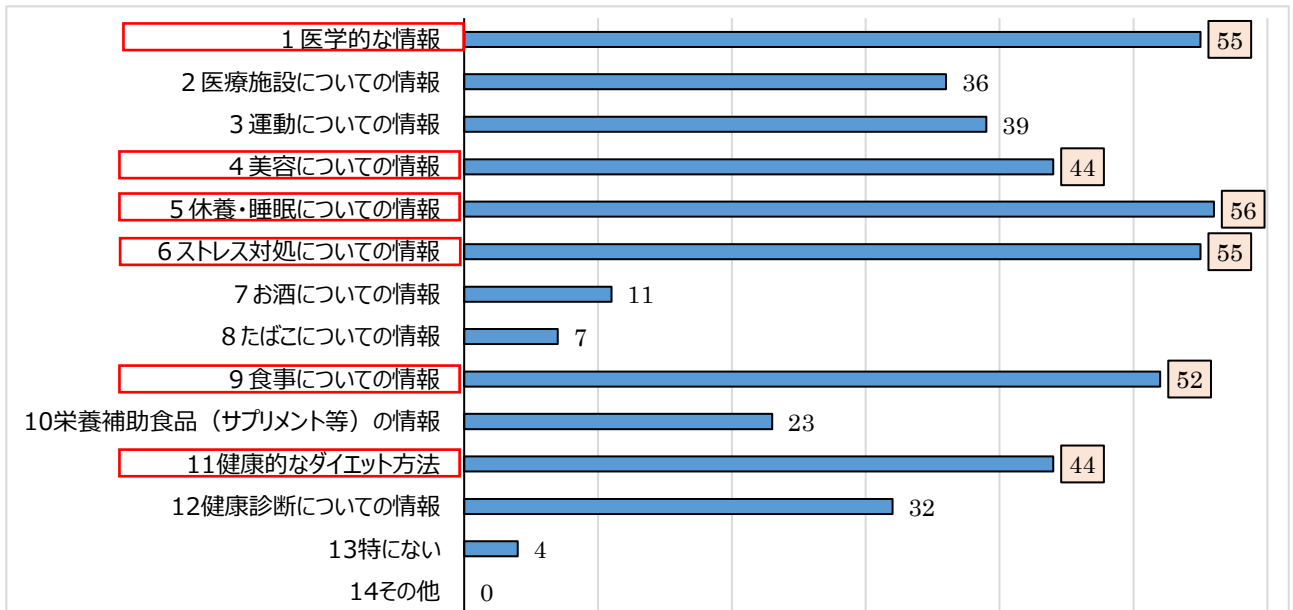
Q2 あなたは自分の健康に自信がありますか？



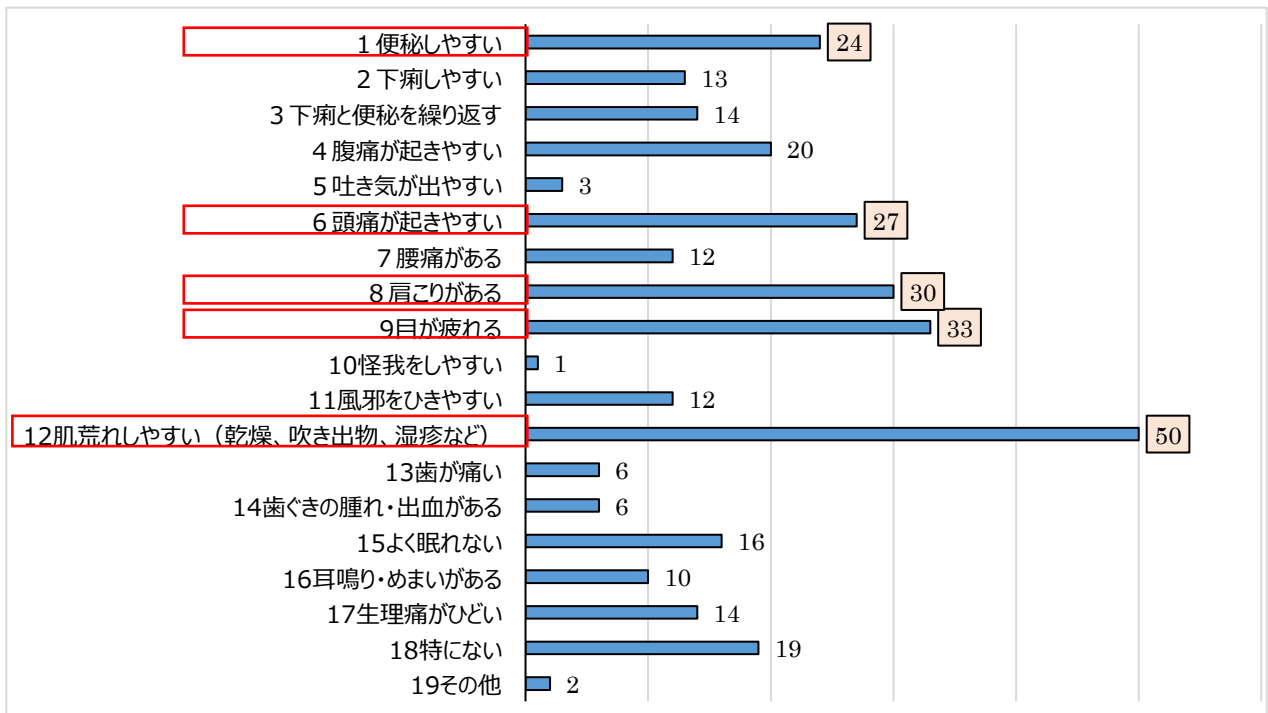
Q3 あなたが「健康！」といえるために、重要だと思う事は何ですか？（複数選択可）



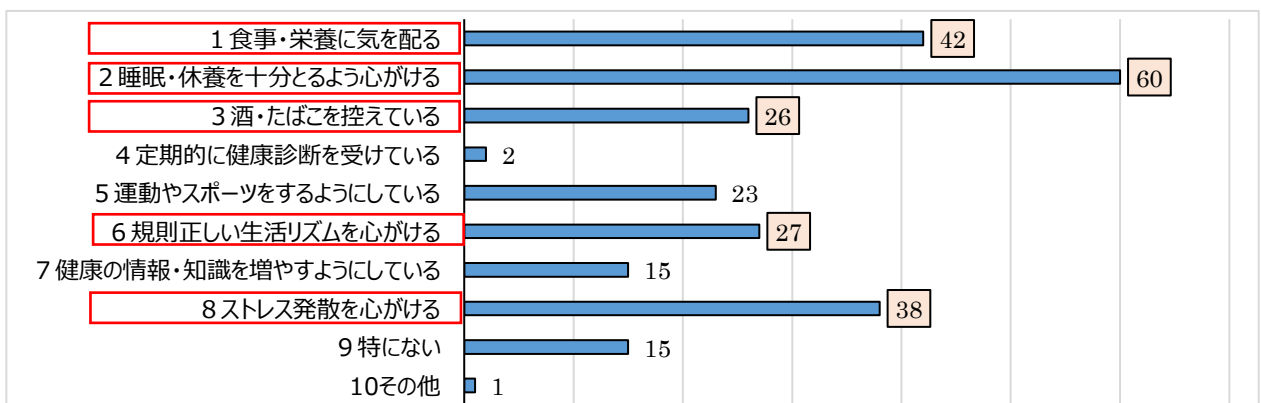
Q4 あなたが健康になるためには、どのような情報を知りたいですか？(複数選択可)



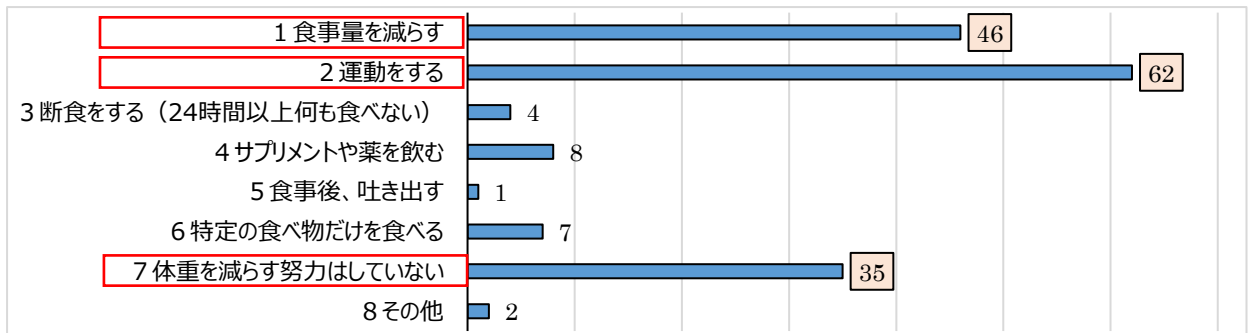
Q5 最近1年間、あなたの体の状態で気になることはありますか？(複数選択可)



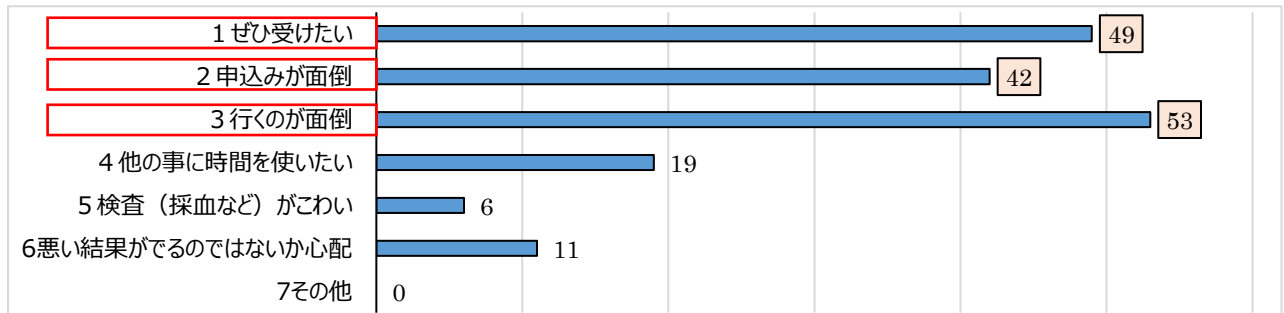
Q6 健康のために、あなたが日頃実践していることはありますか。(複数選択可)



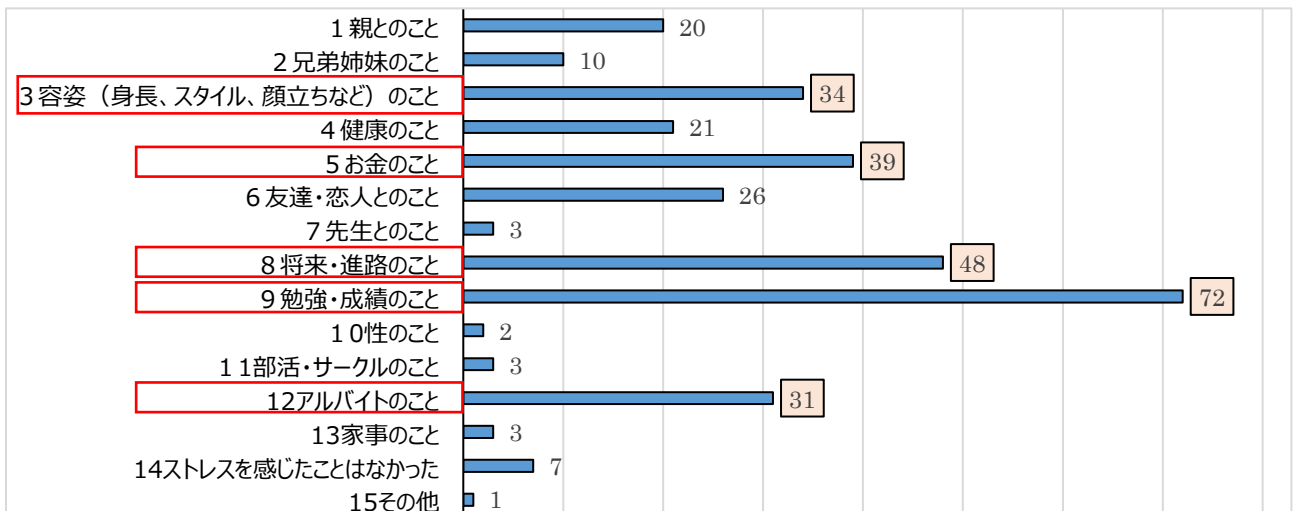
Q7 最近1年間、あなたは以下の方法などにより、体重を減らす努力をしたことがありますか？



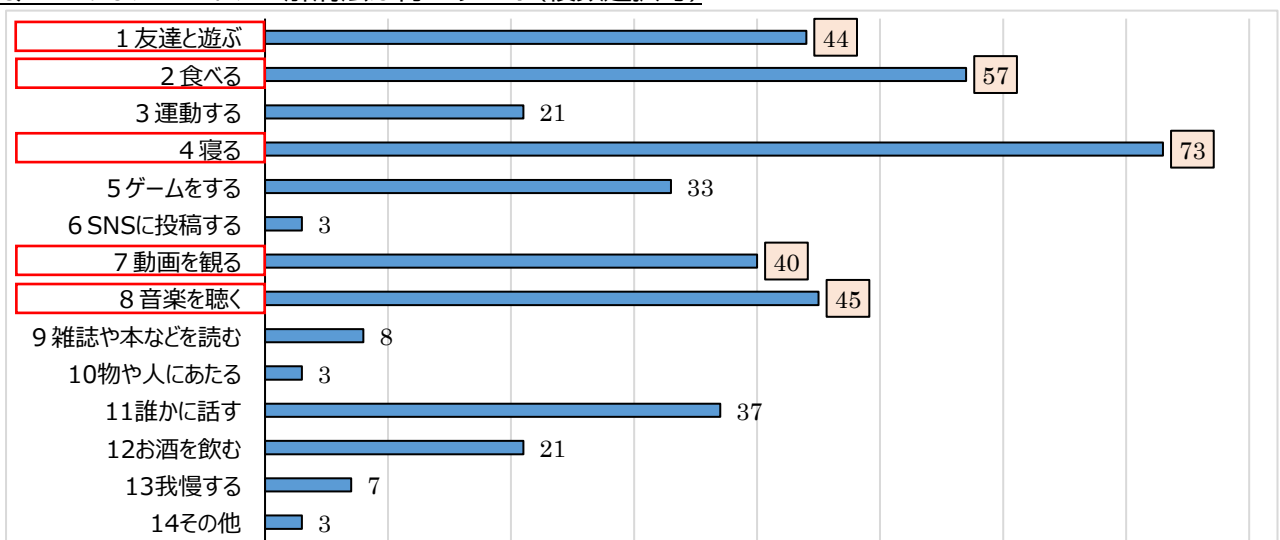
Q8 「健康診断を受けましょう！」と言われて、あなたが思う事は何ですか？(複数選択可)



Q10 最近3か月以内のうち、あなたはどのようなことでストレスを感じましたか？(複数選択可)

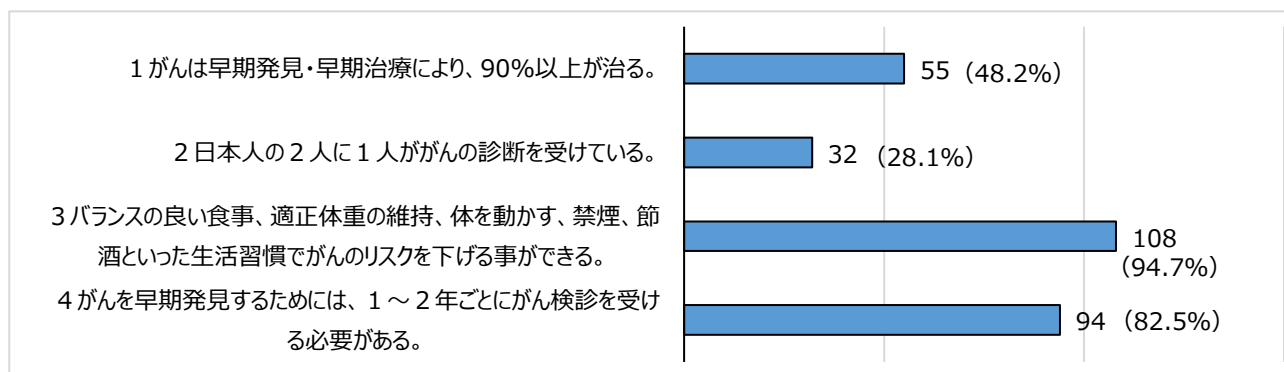


Q11 あなたのストレス解消法は何ですか？(複数選択可)



Q12 がんについて、正しい情報を知っていただくための設問です。

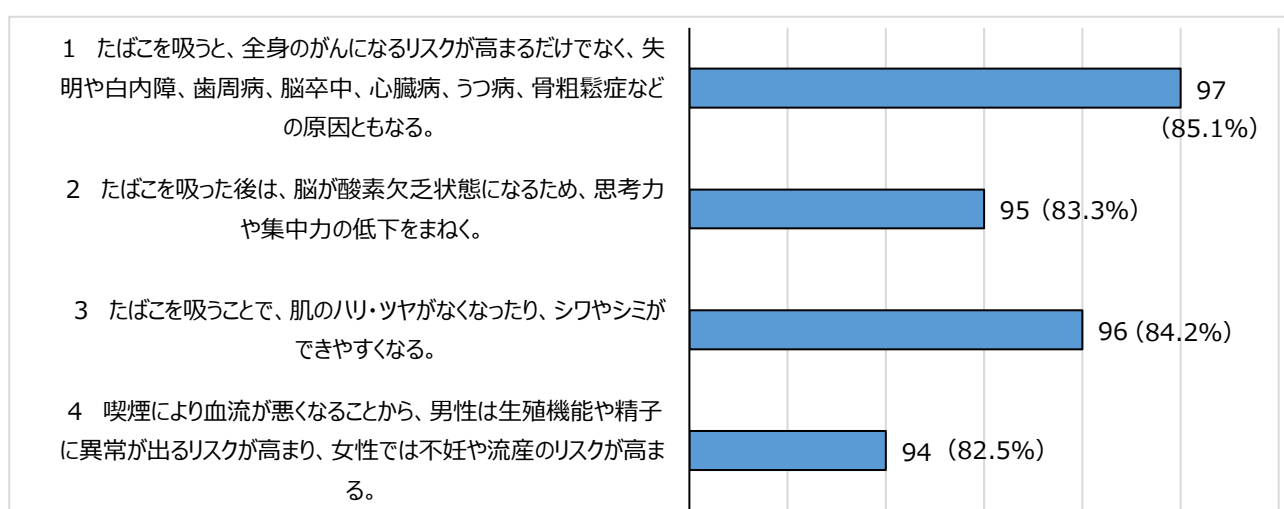
正しいと思う記述を選択して下さい。(複数選択可) ※すべて正しい記述



() 内は正解率

Q13 たばこの害について、正しい情報を知っていただくための設問です。

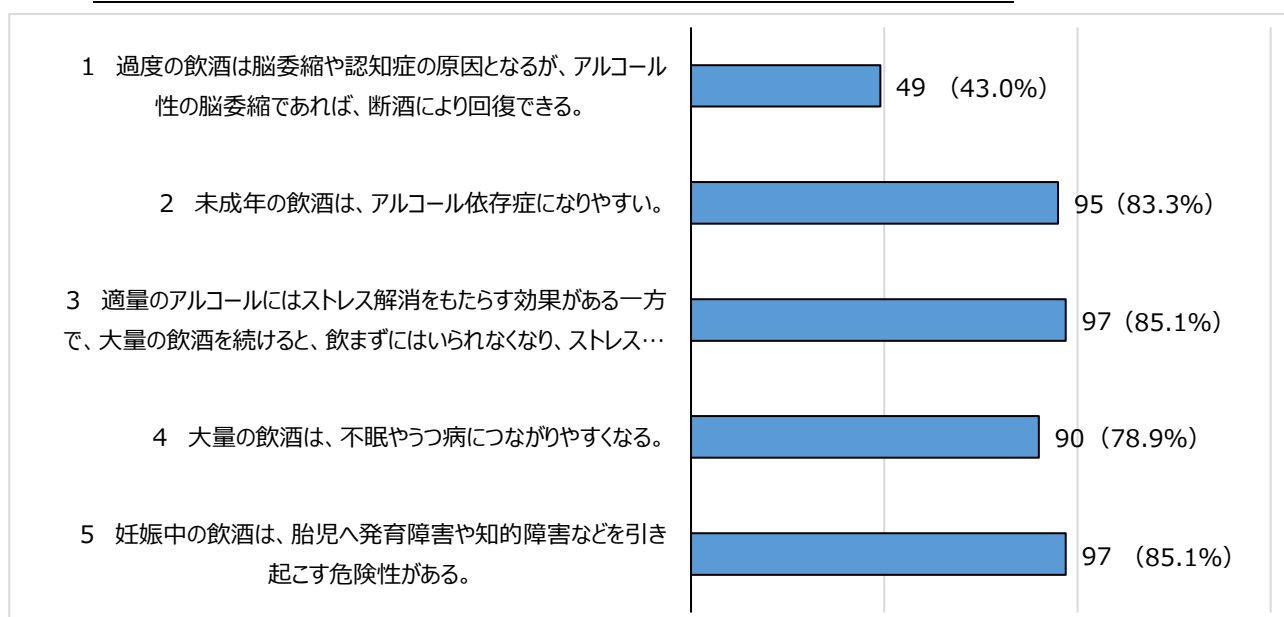
正しいと思う記述を選択して下さい。(複数選択可) ※すべて正しい記述



() 内は正解率

Q14 アルコールについて、正しい情報を知っていただくための設問です。

正しいと思う記述を選択して下さい。(複数選択可) ※すべて正しい記述



() 内は正解率

Q9 西東京市では 18 歳から 39 歳の健康診断を受ける機会が無い方を対象に、「若年健康診査」を行っています。受診方法は、複数ある実施日から希望日を選んでいただき、申込の上、指定の場所にて健康診査を受けてもらっています。

より多くの方に受診していただくために、どのような取組みが必要だと思いますか？

または、どのような受診方法だったら、若年健康診査を受けやすいと思いますか？

項目	内容
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断があることを知らなかったので、情報発信をもっとしていく必要があると思います。 ・お知らせの郵便を配送する。 ・市からの健康診断の重要性、案内の手紙を各家庭に送付すること、SNS 等での健康診断の重要性を提示。 ・若年健康診査があることを知らなかったので、まずは多くの人に知ってもらうような取組みが必要だと思う。 ・まずはそのような健康診査の存在を知ってもらえるようにチラシを配ったり、対象の年齢層が多く所属している場所（学校や職場）に張り紙などをする。 ・健診を受けることの利点をわかりやすく伝えて検査したいと思ってもらえるようにする。 ・全員の自宅に健康診査の申込書を郵送する。 ・行う時間が具体的にわかるといきやすいと思います。 ・インスタの広告でみんなが踏むようにする。 ・情報を得られていない若者が多いと思う。知ってもらうきっかけを sns などを活用して増やす。 ・そもそもやっていることを知らなかったので、駅のホームなどにポスターを貼って呼びかける。 ・悪い結果を放置しておくとうなるかを知らせる。 ・大学での情報の呼びかけ。 ・もっとその情報を SNS などで呼びかけるとよい。「若年健康診査」を知らない人が多いと思う。 ・大学を通じて宣伝する ・西東京市に住んでいるがそのような情報は知りませんでした。もうあるのかもしれませんがバスの広告や駅の広告にあつたらもう少し知れるかなと思いました。また、大学の掲示板はあまり見る機会がないので、大学のインターネット掲示板の方に掲載していただけたら気づきやすいかなと思います。 ・そもそもそういった取組みがある事を知らなかった。チラシ等で宣伝するべきだと感じました。 ・Instagram や X などの SNS で周知する。
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチンの接種等でもそうだが、受付終了の時間が早すぎて、日程がなかなか調整できない。20 時位まで受付時間を伸ばしてもらえると、学校・仕事終わり等に行きやすいと思う。 ・夜間なども受けられるようにする。 ・予約がなく、遅い時間まで実施されていたら行きやすいと思います。 ・夜遅くまでやる。 ・遅い時間帯でも受けられる ・平日以外も選択可能で 17 時までとかの早い時間ではなく遅い時間も選択できる。 ・土日でもできる。
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・大学に来てもらって、健康診断をする。 ・大学生の場合、大学単位で健康診断を行えるようにする。 ・何かのイベントに合わせて気軽に健康診査を受けられるようにする。 ・健康診査の場所を増やすことで、多くの人が行きやすくなれば、受けやすくなると思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・よく行く場所に健康診断の会場を設け、気軽に受けることができる機会を作る。 ・健康診断の実施場所を増やして、行きやすいようにする。 ・交通が便利な場所で行う。 ・駅の近くに設置する。 ・市民が多く訪れる場所(ASTA、LIVIN など)で実施する。 ・近くのところ。 ・指定の場所の候補が多くあり家から近い場所があれば行きやすいと思います。 ・家から近い病院で健康診断をやってくれると受診しやすいと思う。 ・身近な病院で受診できること。 ・学校の後に受けやすい場所や時間であるといいと思う。 ・学校や職場で健康診査を提供し、受診の機会を増やすことが必要だと思う。 ・対象の医療施設が数多くあること。受診をしたくても自宅から遠かったり病院の選択肢が少なかったりすると受けにくいと感じるため。
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット上で簡単に予約できるシステムの提供を行う。 ・申し込みが簡単にできるようにする。 ・インターネットで健康診断の申し込みが完結できるようにする。 ・予約が取りやすい。 ・スマホでの簡単予約を可能にする。 ・ネットで予約できるようにする。 ・オンラインで申し込みができる。 ・インターネットの予約サイト等を活用し、スマートフォン等から気軽に申し込めるような形態にする。 ・ネットで申し込みが完結できる。 ・申し込みが簡易的でスムーズに出来ること。 ・LINE で申し込めるなど、申し込み方法を簡略化する。 ・スマホだけで完結するとストレスや障害が少なく受けやすいと感じると思う。 ・用紙だけでなく、ネットによる申し込みを選択肢に組み込む。
インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・受けたらなにか特典がもらえる。 ・地域で使える商品券。 ・お土産を用意する。 ・行くことによりサービス券をもらえるなど、何か行きたくなるようなメリットがあると行くと思います。 ・行ったらどのようなことがいいかをきちんと伝えたり、何かプレゼントがある。 ・検査を受けた人になにか渡す。 ・理想的な期間で定期的に検査に行くことで、スタンプやポイントが溜まり、一定量それが溜まると若年者が喜ぶようなプレゼント等が受け取れる。例えば歯ブラシセット、保湿リップ、スキンケアセットなど。 ・受診をした方に市内で使えるクーポンなどを発行する。 ・健康診断を受けた人への特典を用意する。 ・簡易的な特典などをつけることで興味を引くと思います。コロナワクチンで、割引になるようなもの。 ・何らかの報酬を用意する。 ・献血のように、景品を用意する。 ・特典があるといいと思う。 ・受けたら飲食店で使えるポイントを付与する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断を受診すると西東京市内で使える商品券や QUO カードの配布。 ・いったら特典がつく。 ・検診を受けたら何か特典がもらえる、行った人にしか得られない有益な情報があるなど、検診に行くことで何かメリットが得られるような制度を作る。 ・受けたことで利益が出るという。
待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> ・病院では待ち時間が多くかかってしまって、予定通りに終わらないことが多くあるので、その問題を解決してほしいです。 ・時間の拘束があまりない。 ・待ち時間が少なくなるように、事前に聞ける問診内容などはインターネットで記入してもらい、対面では計測をメインに行えば短くなると思う。 ・所要時間がわかるようにする。 ・並ぶ時間を減らすために予約制にする。 ・例えばドライブスルーのような手軽に健康診断を受けられることができる制度。 ・短時間で受診可能だと受けやすい ・すぐ健康診断が終わる。
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の専業主婦は子供を保育所などに預けていると限らず、土日であれば尚更子供を連れて行けない可能性もある。受診者の子供向けの託児所を設けるなどすればいいと思う。"
結果説明	<ul style="list-style-type: none"> ・結果について医師からの簡単なフィードバック。 ・健康診断の結果に応じてサポートがある。
仕組・制度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校終わりに気軽に受けられる。 ・学校に行っている段階から、申し込んで行く仕組みを作り、卒業後も継続できる制度があれば受診しやすいのでは無いかと思った。 ・健康診査の日に休みを取りやすいようにする。 ・受けないことでデメリットが生じなければ受診する人を増やすのは難しいと思う。 ・健康診断の義務化。 ・健康診断のための一斉休日を用意してもらおう。 ・仕事を休んでも会社から悪く思われないように市側から会社へ通達してもらいたい。
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の無料化。 ・健康診断にかかる費用の割引券などを各家庭や世帯にお知らせと一緒に郵送することで、費用の問題が軽減されるのではないかな。 ・医療費無料。 ・値段が安い。 ・健康診査の自己負担分の料金を減らす。

Q15 現在、健康課では市民の皆様のだれもが健やかでこころ豊かに生活できるまちづくりを目指して、
第3次西東京市健康づくり推進プランの策定を進めています。

子どもからお年寄りまで、あらゆる世代の人が生き生きと暮らせるまちの実現のために、どのような情報・活動・環境等が必要だと思いますか？ぜひ、あなたの自由なご意見をお聞かせください。

<p>情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい生活習慣、健康に関する情報についての提供。 ・ウェブサイト、パンフレット、ソーシャルメディア等を活用して健康情報を発信し、市民が健康に関する正確な知識を習得できるようにする事が必要だと思う。 ・ポスターやパンフレットなどで健康推進を呼びかける。 ・町にポスターが貼られているのをたまに見るが、より目に入りやすいように自宅ポスト等に情報のチラシ等を投函する。 ・世代ごとに必要な情報を提供し、見やすい掲示をする。 ・健康に対する情報の提供。 ・健康に関する情報に目が映る機会が少ないと感じる。そのため、目に入るところに情報などを提示すればいいと思う。 ・まちの情報共有を、年齢対象別に明確にする。若者にはスマホで情報を見られるようにする。高齢者には紙媒体や地域の提示版、市役所など生活している中で目につくような場所に情報を置いておく。 ・人間ドックについてのポスターの掲示をしたら、より多くの人に興味を持ってもらえると思う。 ・健康についての情報・地域のイベントについての情報。 ・スポーツなど運動に関するイベントの情報。 ・何をどれくらい運動するかで、どのような効果、何キロカロリー消費するなどの情報の掲示。 ・市での取組みを公共バスや電車で宣伝し、多くの人に知ってもらうことが必要であると感じた。
<p>イベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加を増やすために、様々なイベントを計画するべきだと思う。 ・市民が集える活動。 ・たまに田無神社に参詣しに行くのですが、かなり憩の場として愛されている印象を受けました。なにか神社と関係したイベントをすれば地域の方が集まりやすくなるかもしれません。 ・江戸川区でいう「すすくすくスクール」のように地域の高齢者と児童の関わりの場を増やす。 ・健康を意識させるため、薬局やドラッグストア等の医療機関が一体となり健康サポートを行う。 ・お祭りなどがたくさんある。
<p>環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園、運動施設、などの場所の整備。 ・スポーツ施設やフィットネスセンターの整備とアクセスを向上させ、運動を推奨し、健康促進のためのコミュニティイベントやフェスティバルを開催することも必要だと思う。 ・バリアフリーの充実。 ・子供達がのびのびと遊んでも近所の人から怒られない場所づくりをしてほしい。 ・喫煙所の撤廃。 ・よく大人は「子供の声がうるさい」と公園なのに「音を立てるな」や「ボール遊びするな」という癖に、ゲームをしていると「最近の若い子は」と言われるので、運動場や子供でも遊べる外の遊び場を無くさずに場所を作って欲しい。 ・綺麗で使いやすい公園。 ・それぞれが周りの住民からのストレスを減らす環境を用意する。 ・様々な世代が同時に集まり交流できる環境やその情報が必要だと思う。 ・子ども達が元気に走り回ってもあまるくらいの大きな公園があれば、そのような小さい子供はも

	<p>ちろん、お年寄りを含む大人も散歩をすることができて、身体的にも精神的にも健康に繋がると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような場所で定期的に健康に関するイベントを開催することでよりたくさんの人の健康への関心も集められると思う。 ・公民館のような自由な空間。 ・整備された建物が多いこと。 ・運動を行うために、遊歩道などに km を書いたりカロリー消費量、歩数などを書いてモチベーションを上げる。 ・交通整備の面に関しては道の幅が気になることがある。道幅を広くして、歩行者と自転車の距離が広がると安心して歩けるなと思う。
運動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツイベントを開く。それに参加すると特典がもらえるなどのような工夫をする！ ・みんなでマラソンする。 ・運動施設の無料化。 ・町の運動会を開く。 ・運動ができる設備の整備(市民プールなど)。 ・長期休みの際のラジオ体操など年齢を超えた合流。 ・運動スペースを増やす。 ・体育館の借りる費用を減らす。
インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の頃にラジオ体操をしてスタンプを貯めて、特典がもらえるように遊び心を加える。 ・様々な運動をする事で、お店等で使えるポイントがたまる、景品と交換できる等の、自分の身体面以外にも得をするシステムがあれば、あらゆる世代の人が健康を保てると思います。 ・町のイベントなどで若い人を集める。そこで人を誘うと特典があるなどで他の人も巻き込んで健康になったり交流を深めるきっかけにしてほしいです。
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・健康なご飯のレシピ。
こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みを相談できる施設。 ・予約が取りやすいような工夫をしたうえで、無料カウンセリングを実施する。 ・誰もが立ち寄れる空間があれば悩みを相談できたり、気分転換をすることができると思う。
健診	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断を受けやすい環境づくり。 ・健康診断を受けることでどのようなメリットがあるのか知りたい。 ・健康診断を受けて良かったと思った人の声を聞きたい。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医の大切さを伝えること ・妊娠経験がなくても、女性にとってはかかりつけの婦人科があるというだけで安心すると思う。 ・もっと病院の待ち時間を減らして欲しい。 ・医療費を安くする
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、首都直下型地震や南海トラフ地震などのニュースが出てくるようになり、防災についての不安や関心が自分の中で高まっているように感じる。災害が起こった場合の対処方法や避難場所、備蓄についてなどの情報が分かりやすくまとめられていればいいなと思う。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が重視されることが多いと思うが、妊娠出産にあたっての支援をさらに手厚くすることも重要かと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・お年寄り・妊婦など特定の人々に特化した政策はあるが、現役世代に対する政策が少ないというか、これといったものが思い浮かばないため、その世代に特化した政策がもう少し必要だと思う。

	<ul style="list-style-type: none">・病院に行きやすい環境や子育てのしやすい環境が整う必要があると思います。 高齢者や乳幼児を連れてお母さんなどが病院などの機関へ向かう時に無料ないしは割引された値段でタクシーに乗れるなど。・金銭面の補助。・バス時間通りに来て欲しい。・カメムシが多い。・バイトの時給をあげてほしい。・生活する上で困っていることはないかを調査する。・あらゆる世代は無理だと思う。どこかが我慢するか、それぞれで折り合いをつけるのが必要。・地域社会が協力し、異なる世代間でのコミュニケーションや支援が行われる事。
--	--